

第 2 2 回串間市農業委員会総会

日 時 平成 2 8 年 3 月 3 0 日
会 場 串間市役所 3 階大会議室
出席委員 1 9 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
2 番	井手 重則	1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
		1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	塔尾 秀雄	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子		

欠席委員 2 名 (6 番 武田 康典 2 2 番 岩下 哲見)

議事録署名委員 5 番 内田 政秀、 2 1 番 鳴海 正文

議事日程

第 1	報告 (合意解約)	農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について
第 2	議案第 1 3 6 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 3	議案第 1 3 7 号	農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について
第 4	議案第 1 3 8 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 5	議案第 1 3 9 号	農用地利用集積計画の承認について (所有権移転)
第 6	議案第 1 4 0 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・認定農業者)
第 7	議案第 1 4 1 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・一般農業者)
第 8	議案第 1 4 2 号	女性活躍推進法に基づく串間市特例事業主行動計画の策定について
第 9	議案第 1 4 3 号	農業委員会事務局職員の異動について

会 長

それでは、只今から、第２２回農業委員会総会を開催致します。本日は、６番委員と２２番委員から欠席届の提出がありましたので、出席委員は１９名でございます。

議事録署名委員の指名

会 長

本総会での議事録署名委員の指名をいたします。

議事録署名委員は、５番 内田 政秀 委員、２１番 鳴海 正文 委員にお願いします。

会 長

議案の訂正について

審議に入ります前に、議案の訂正がありますので事務局より説明させます。

事務局

議案の訂正をお願いいたします。

９ページをお開きください。議案第１４０号農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定 認定農業者分でございますが、受付番号７番から９番の貸借期間並びに終期の修正がございます。担当委員が申請人に確認したところ、期間と終期の誤りが発覚したため今回修正させていただきます。受付番号７番の期間を４年から３年へ、備考欄の終期３２年３月３１日から３１年３月３１日に訂正願います。受付番号８番につきましても期間を４年から３年へ、備考欄の終期３２年３月３１日から３１年３月３１日に訂正願います。続きまして受付番号９番につきましては、期間を６年から５年へ、備考欄の終期を３４年３月３１日から３３年３月３１日へ変更願います。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

ただちに議案審議に入ります。

報告：農地法第１８条第６項の規定による届出について

会 長

農地法第１８条第６項の規定による届出について事務局より報告させます。

事務局

農地法第１８条第６項の規定による合意解約について報告いたします。

今回の合意解約は３件でございます。内容といたしましては、賃貸人からの申し出等が、解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思います。以上でございます。

会 長

報告はお聞きのとおりであります。

会 長

議案第 1 3 6 号：農地法第 3 条の規定による許可申請について

次に、議案第 1 3 6 号は、農地法第 3 条の規定による許可申請について、であります。
それでは、議案第 1 3 6 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 1 3 6 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は受付番号 1 番、2 番、4 番の所有権移転に関する 3 件と、受付番号 3 番の持分移転に関する 1 件の合計 4 件であります。受付番号 3 番の 1 件につきましては 2 名の共有地ではありますが、4 分の 1 が未相続であるため、譲渡人の持分 4 分の 3 のみを今回移転するものであります。許可要件につきましては、通常の農地法 3 条の規定による許可申請と相違ないことを申し添えます。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

- 「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合
- 「第 3 号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること
- 「第 4 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合
- 「第 5 号」 権利取得を含めた経営農地が、50 アールに達しない場合
- 「第 6 号」 今回の申請農地を、転貸しようとする場合
- 「第 7 号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、

であり、今回の許可申請受付番号 1 番から 4 番の 4 件については、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。以上でございます。

会 長
会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、大東地区委員会より、受付番号１番から３番の３件の説明をお願いします。

１４番

議案第１３６号、農地法第３条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号１番と２番の所有権移転に関する２件と、受付番号３番の持分移転に関する１件であります。

まず、受付番号１番につきましては、受人は申請地を取得後、飼料を作付けし規模拡大を図るものであり、受人世帯はトラクター・ロールベラー等の機械を所有しており、労働力、技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、農業従事状況については本人が３００日以上に従事があり、問題ないと考えます。周囲は山林及び受人の飼料畑であるため営農の違いによる周辺農地への影響はありません。次に、受付番号２番・３番につきましては、譲受人が同じでありますので合わせて説明します。譲受人は申請地を取得後、食用甘藷を作付し規模拡大を図るものであり、受人世帯はトラクター・ハーベスター等の機械を所有しており、労働力、技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、農業従事状況については本人が３００日以上に従事があり、問題ないと考えます。周辺も食用甘藷が作付けされているため、農薬の使用方法の違いによる周辺農地への影響はありません。以上、大東地区委員会において受付番号１番と２番の所有権移転の２件と受付番号３番の持分移転１件を慎重審議してまいりましたが、農地法第３条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会 長

次に、市木地区委員会より、受付番号４番の１件の説明をお願いします。

２１番

議案第１３６号、農地法第３条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号４番の所有権移転に関する１件であります。受付番号４番につきましては、渡人が高齢で管理できないため、受人が取得後水稻を作付し規模拡大を図るものであります。受人世帯は水稻・ポンカンなどを作付しており、トラクター・コンバイン・田植機などの農業機械保有があり、労働力、技術面においても問題なく効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、農業従事状況については、本人が年間３００日以上、妻２８０日、弟２００日以上に従事があり問題ないと考えます。周辺地域は水稻作付されており、農薬散布・水利調整等においても問題ありません。以上、市木地区委員会において受付番号４番の所有権移転に関する１件を慎重審議してまいりましたが、農地法第３条の許可要件を満たしており何も問題ありませんのでご審議方よろしくをお願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今から、議案第 1 3 6 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件について、質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 1 3 6 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第 1 3 6 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件については、許可することに決定します。

議案第 1 3 7 号：農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 1 3 7 号は、農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 1 3 7 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 1 3 7 号、農地法第 4 条の規定による許可申請は受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。農地法第 4 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、

事務局

その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号1番の1件の申請地農地区分は、農地法第4条第2項1号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法 第8条第1項第1号に規定されている、住居の環境を保護するため定める地域「第一種住居地域」に該当し、「第3種農地」に区分されますので、農地法第4条第2項1号ロにも該当しておりません。次に、受付番号2番の1件の申請地農地区分は、農地法第4条第2項第1号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されますので、農地法第4条第2項1号ロには該当しておりません。したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番と2番の2件につきましては、農地法第4条第2項各号に該当していないため、許可要件の全てを満たしていると思われまます。皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に関連して、関係地区委員会から調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

会 長

それでは、福島地区委員会より受付番号1番の1件の説明をお願いします。

7 番

議案第137号、農地法第4条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番の1件であります。

受付番号1番については、申請人所有の隣接地を今後宅地として売却するにあたり、進入路が必要なため今回申請するものであります。北側、西側、南側は申請人の土地、東側は市道、その他は宅地であり、土砂流出防止のため、道路に縁石をし、ブロックを積む計画であるため、周辺の土地、作物に被害を与える恐れはありません。以上、福島地区委員会において、受付番号1番の1件を慎重審議してきましたが、農地法第4条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会 長

次に、大東地区委員会より受付番号2番の1件の説明をお願いします。

1 4 番

議案第137号、農地法第4条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号2番の1件であります。

受付番号2番については、申請地は周囲を山林で囲まれ、鳥獣害被害により耕作することが困難であることか

1 4 番

ら、今後は周辺の山林と一緒に管理していくとのことでもあります。周囲はすべて山林であるため、周辺の土地に被害を与える恐れはありません。以上、大東地区委員会において、受付番号 2 番の 1 件を慎重審議してきましたが、農地法第 4 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第 1 3 7 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 1 3 7 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 1 3 7 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

会 長

議案第 1 3 8 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

次に、議案第 1 3 8 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 1 3 8 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 1 3 8 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は受付番号 1 番と 2 番の所有権移転に関する 2 件であります。農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

事務局

「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号1番の1件の申請地農地区分は、農地法第5条第2項1号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法 第8条第1項第1号に規定されている、道路の沿道としての地域の特性にふさわしい業務の利便の増進を図りつつ、これと調和した住居の環境を保護するため定める地域「準住居地域」に該当し、「第3種農地」に区分されますので、農地法第5条第2項1号ロにも該当しておりません。

次に、受付番号2番の1件の申請地農地区分は、農地法第5条第2項第1号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されますので、農地法第5条第2項1号ロには該当しておりません。したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番と2番の2件につきましては、許可要件を全て満たしていると思われまます。皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より、受付番号1番1件の説明をお願いします。

7 番

議案第138号、農地法第5条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番の1件であります。渡人は非農家で、相続された農地を管理することができないため、息子である受人が太陽光発電施設を建設し土地の有効利用を図るために今回申請するものであります。申請地の周囲は宅地及び畑がありますが、既にブロック積がなされており、その上からフェンスを設置するため土砂流出防止、安全面においても問題ありません。排水については新たに側溝を設け、既存の側溝に流す計画であるため影響はありません。以上、福島地区委員会において、受付番号1番の1件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているた

め、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号 2 番の 1 件の説明をお願いします。

1 4 番

議案第 1 3 8 号、農地法第 5 条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号 2 番の 1 件であります。受人は現在、両親と同居し鍼灸師として働いているが、今後は独立して開業するため今回申請するものであります。許可後は鍼灸院・個人住宅を建設する予定であり、周囲は宅地と一部農地がありますが、土砂流出や崩壊、その他の災害を発生させる恐れのないようブロック積をし、汚水等についても合併浄化槽を設置し排水する計画であるため問題ないと考えます。以上、大東地区委員会において、受付番号 2 番の 1 件を慎重審議してきましたが、農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。

これより、議案第 1 3 8 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 1 3 8 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第 1 3 8 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長

次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、であります。審議に入ります前にあらかじめ、市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成２８年３月分につきましては、串間市長より平成２８年３月１７日付で、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の決定が求められております。

内容につきましては、議案第１３９号・所有権移転が１件・面積が６８１㎡、議案第１４０号・受人が認定農業者である利用権設定が１４件・面積が３５，５７４㎡、議案第１４１号・受人が一般農業者である利用権設定が１２件・面積が１４，７１４㎡であります。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

それでは、只今から市からの提案について、審議に入ります。

議案第１３９号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転

会 長

議案第１３９号は、農用地利用集積計画の所有権移転の承認について、であります。

それでは、議案第１３９号、受付番号１番の１件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１３９号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は、受付番号１番の１件であります。この１件について、説明いたします。「農用地利用集積計画の承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項、

第１号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること。

第２号) イ 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること。

第２号) ロ 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること。

であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番の１件については、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号１番の１件の説明をお願いします。

７ 番

議案第１３９号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号１番の１件であります。この１件において、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番の１件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

これより、議案第１３９号、受付番号１番の１件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第１３９号、受付番号１番の１件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第１３９号、受付番号１番の１件について、決定して市へ通知します。

会 長

議案第１４０号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・認定農業者分

次に、議案第１４０号は、農用地利用集積計画の利用権設定・認定農業者分について、であります。審議に入ります前に、当該事案に１３番委員に関係する事案がありますので、農業委員会等に関する法律第２４条の「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了までの退席をお願いします。暫時休憩いたします。

(・・・13番委員退席・・・)

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、議案第140号、受付番号7番から9番の3件を先に議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第140号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分であります。今回の譲受人が認定農業者分につきましては、受付番号1番から14番の14件であります。先に、受付番号7番から9番の3件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号7番から9番の3件につきましては、議案第139号で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の該当要件をすべて満たしていると思われまふ。皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、大東地区委員会より、受付番号7番から9番の3件をお願いします。

14番

議案第140号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、大東地区は受付番号7番から14番の8件であります。まずは受付番号7番から9番の3件について説明します、この3件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、大東地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号7番から9番の3件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第140号、受付番号7番から9番の3件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第140号、受付番号7番から9番の3件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 1 4 0 号、受付番号 7 番から 9 番の 3 件について、決定して市へ通知します。
暫時休憩いたします。

(・・・13 番委員入室・・・)

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。
それでは、議案第 1 4 0 号、先に審議しました受付番号 7 番から 9 番の 3 件を除く、受付番号 1 番から 6 番と 1 0 番から 1 4 番の計 1 1 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 1 4 0 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、先程説明しました受付番号 7 番から 9 番の 3 件を除く、受付番号 1 番から 6 番、1 0 番から 1 4 番の計 1 1 件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番から 6 番、1 0 番から 1 4 番の計 1 1 件につきましては、議案第 1 3 9 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。また、受付番号 3 番と 1 0 番の 2 件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項第 4 号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。ただし、契約期間が 5 年を超えない利用権の設定の場合には、所有権を有する者の 2 分の 1 を超える同意が得られていれば足りることとなっております。受付番号 3 番と 1 0 番の 2 件につきましては、契約期間が 5 年を超えておらず、所有権を有する者の 2 分の 1 を超える同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号 1 番から 6 番の 6 件をお願いします。

7 番

議案第 1 4 0 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、福島地区は受付番号 1 番から 6 番の 6 件であります。この 6 件全てにおいて、「農用地利用集積計画

7 番

承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番から 6 番の 6 件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号 1 0 番から 1 4 番の 5 件の説明をお願いします。

1 4 番

議案第 1 4 0 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、大東地区は受付番号 1 0 番から 1 4 番の 5 件であります。この 5 件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、大東地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 0 番から 1 4 番の 5 件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今から議案第 1 4 0 号、受付番号 7 番から 9 番の 3 件を除く、受付番号 1 番から 6 番と 1 0 番から 1 4 番の 1 1 件について、質疑に入ります。質疑はありませんか。

(なしの声)

会 長

無いようですので、議案第 1 4 0 号、受付番号 7 番から 9 番の 3 件を除く、受付番号 1 番から 6 番と、1 0 番から 1 4 番の計 1 1 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第 1 4 0 号、受付番号 7 番から 9 番の 3 件を除く、受付番号 1 番から 6 番と 1 0 番から 1 4 番の計 1 1 件について、決定して市へ通知します。

議案第 1 4 1 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・一般農業者分

会 長

次に、議案第 1 4 1 号は、農用地利用集積計画の利用権設定・一般農業者分について、であります。それでは、

会 長

議案第１４１号、受付番号１番から１２番の１２件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１４１号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、一般農業者分であります。今回の譲受人が一般農業者分につきましては、受付番号１番から１２番の１２件であります。この１２件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番から１２番の１２件につきましては、議案第１３９号で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。また、受付番号２番、６番、１０番、１２番の４件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合の権利移動につきましては、議案第１４０号で説明したとおりであります。この４件につきましても、契約期間が５年を超えておらず、所有権を有する者の２分の１を超える同意が得られているため、該当要件を満たしております。尚、受付番号４番の１件の申請地につきましても、２名の共有地であります。全員の同意を得ており問題ありません。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号１番から１１番の１１件の説明をお願いします。

７ 番

議案第１４１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、一般農業者分、福島地区は受付番号１番から１１番の１１件であります。この１１件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番から１１番の１１件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

次に、市木地区委員会より、受付番号１２番の１件の説明をお願いします。

２１番

議案第１４１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、一般農業者分、市木地区は受付番号１２番の１件であります。水稻を作付けし規模拡大を図るものであります。「農

2 1 番

土地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受入及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、市木地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 2 番の 1 件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今から、議案第 1 4 1 号、受付番号 1 番から 1 2 番の 1 2 件について、質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第 1 4 1 号、受付番号 1 番から 1 2 番の 1 2 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

意義なしということでありますので、議案第 1 4 1 号、受付番号 1 番から 1 2 番の 1 2 件について、決定して市へ通知します。
暫時休憩します。

議案第 1 4 2 号：女性活躍推進法に基づく串間市特定事業主行動計画の策定

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。

只今、事務局より追加議案が 2 件提案されました。まず、追加議案第 1 4 2 号女性活躍推進法に基づく串間市特定事業主行動計画の策定について、を議題といたします。まず、事務局からの説明を求めます。

事務局

ただいま配布させていただきました追加議案 1 4 2 号につきましては、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が昨年 8 月に制定されたことによりまして、同法第 1 5 条に基づき地方公共団体の機関等の特定事業主は、特定事業主行動計画を策定することが義務づけされております。今回、3 月 2 4 日付けで串間市長より、串間市特定事業主行動計画を策定するにあたり、当委員会を含む 6 委員会等と連名で策定する申出がありましたのでご提案させていただきます。まず、議案書の下段に法第 1 5 条の条文がございますが、この行動計画には計画期間、達成しようとする目標、その取組の内容と実施時期を定めることとなっております。詳細の内容は別紙、女性活躍推進法に基づく串間市特定事業主行動計画（案）に記載してありますので、お目通しく

事務局

ださい。

主な内容につきましては、議案書の中段にありますので読み上げさせていただきます。策定者は連名により策定、計画期間は平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間、目標が4つございまして、①女性の管理職員比率の増加に努める ②職員の超過勤務時間の短縮に努める ③職員1名当たりの年次休暇の取得目標を14日とする ④育児休業等の取得率を次のようにする 育児休業 男性13%女性100% 男性の配偶者出産休暇100% の目標設定となっております。以上、提案いたします。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今から、議案第142号、女性活躍推進法に基づく串間市特定事業主行動計画の策定について、質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

無いようでございますので、議案第142号、女性活躍推進法に基づく串間市特定事業主行動計画の策定については、市長部局との連名により当計画を策定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第142号、女性活躍推進法に基づく串間市特定事業主行動計画の策定については、市長部局との連名により当計画を策定することを決定し市へ通知します。

議案第143号：農業委員会事務局職員の異動

会 長

次に、追加議案第143号、農業委員会事務局職員の異動について、を議題といたします。
この職員の異動に伴う任免につきましては、先に第21回総会議案第135号におきまして、会長に一任すると決議しておりますが、3月23日に市長部局より事務局職員に伴う内示の協議があり、承諾しましたので報告するものであります。それでは、内容につきましては、事務局より説明をさせます。

事務局長

(事務局長説明)

会 長

以上、議案第143号は、説明のとおりでございます。
暫時休憩いたします。

(職員の挨拶)

会 長

以上で、先に送付いたしました議案の審議は全部終了いたしました。
慎重・審議、誠にありがとうございました。